

## 新刊発売のご案内

# リオ、そして2020年東京パラリンピックを目指す 義足の女性アスリート・中西麻耶の激しすぎる生きざま

金子達仁がライター人生を賭けた、渾身の書き下ろし最新作！

日本実業出版社では11月28日、金子達仁著『ラスト・ワン』を発刊いたします。  
スポーツノンフィクション界の第一人者・金子達仁氏が、障害者陸上競技の短距離走、走り幅跳びのメダリスト有力候補として、現在もリオデジャネイロ、東京へ向けてトレーニングに励む中西麻耶（大分県明豊高校出身）の壮絶な“生きざま、に迫る驚嘆と感動のヒューマン・ストーリーです。

### ■ストーリー

中西麻耶は、ソフトテニスで国体を目指していた2006年、勤務先での事故で右膝から下を失う大けがを負う。だが退院後、障害者陸上に転向するや、瞬く間に100m走、200m走で日本記録を塗り替え、事故からわずか2年で北京パラリンピックに出場、入賞を果たす。自らの可能性を信じて単身アメリカ武者修行の旅に出るが、活動資金難からセミヌードカレンダーを製作した彼女を待ち受けていたのは、世間からの手酷いバッシングだった……。うつ病の発症、ロンドンパラリンピックでの惨敗と、どん底を味わい、一度は競技人生に終止符を打ちかけた女性アスリートが、再起して世界の頂点を視界に入れ、リオ、そして2020年東京を目指すまでの軌跡とは――。

その衝撃のラスト一行に、読者は息を呑むことでしょう。



### ■企画の背景

パラリンピックは、オリンピックと同様、あるいはそれ以上に、人間の極限的な姿を露わにする、感動的かつ過酷なイベントです。それを目指すアスリートには、それぞれに競技そのもの以上にドラマティックなストーリーが存在します。

中西麻耶の場合は、一人の障害者として、一人のアスリートとして、そして一人の女性として、ひたむきに自らの人生、そして競技と向き合い、懸命に苦闘してきました。

その真摯でスティックな姿に打たれ、驚嘆、共感した金子達仁が、だからこそ書かざるを得なかった必然性―それが本書のキモといえます。

### ■想定される読者像

本書はスポーツノンフィクションの体裁をとっていますが、狭義での陸上競技ファンやスポーツ愛好家だけが読者対象ではありません。

障害をもった一人の女性アスリートの実話を描いたノンフィクションであると同時に、世間の無理解やバッシングに傷つき、苦悩しながらも、力強く立ち上がった女性の戦いの記録であり、さらには自らの生き方を考えるすべての挑戦者のためのエールでもあります。

ぜひご高覧いただき、ご高評を賜りたいと切に念じております。



#### ◆著者について

#### 金子達仁(かねこ たつひと)

1966年、神奈川県横浜市生まれ。法政大学卒業。96年、サッカー・アトランタ五輪代表の肉声に迫った「叫び」「断層」が「ミズノ・スポーツライター賞」を受賞。翌年には単行本『28年目のハーフタイム』が50万部以上のセールスを記録。第2作『決戦前夜』もベストセラーに。近年は、高田延彦の『泣き虫』、小林旭の『不器用なもんで。』など、サッカーにとどまらずノンフィクション作家として活動の幅を広げ、メディア出演も多い。

#### タイトル：『ラスト・ワン』

四六判並製256ページ 本体1,500円(税別) 11/28 全国書店にて発売

発行：株式会社 日本実業出版社 <http://www.njg.co.jp>  
〒113-0033 東京都文京区本郷3-2-12御茶ノ水センタービル  
Tel 03-3814-5161 / fax 03-3818-1881

お問い合わせは：営業部PR担当 渡辺 博之 [h-watanabe@njg.co.jp](mailto:h-watanabe@njg.co.jp)

義足アスリート中西麻耶の  
壮絶すぎる生きざま。

金子達仁がスポーツライター人生を懸けて挑んだ雄篇。  
だからこそ、中西麻耶はすべてを曝け出した。  
思わずもなりの打つほどの、衝撃エンディング！